



かんきょうはくしょ
ふるさと環境白書

ゆたかなふるさとを共につくるまち なかの

中野市環境白書-子ども版-



わたしたちの住む「^す中野市」は、唱歌「^{なかのし}故郷」にうたわれている
^{しょうか}風景が広がっています。
^{ふるさと}

わたしたちは、この^{ゆた}豊かな自然からたくさんの恵みをいただいて
^{しぜん}生活しています。
^{めぐ}

この^{ゆた}豊かな自然をこれからの子どもたちにも^こ残していくために、わた
^{のこ}したちが住んでいる「^す緑 ^{みどりゆた}豊かなふるさと」を守り続けていきましょう。
^{まも} ^{つつ}

うさぎ お やま こぶなつ かわ
兎 追ひし かの山 小鮎釣りし かの川

ゆめ いま わす ふるさと
夢は今も めぐりて 忘れがたき 故郷

い か ちちはは
如何にいます 父母



つつが とも
恙なしや 友がき

あめ かぜ
雨に風に つけても

こゝろざしを はたして いつの日にか帰らん

やま
山はあをき

おも ふるさと
思ひいづる 故郷

ひ かえ
ふるさと みず きよ ふるさと
故郷 水は清き 故郷



かんきょうはくしょ
「ふるさと環境白書」について

かんきょうはくしょ なかのしかんきょうはくしょ もと いまお かんきょうもんだい なかのしかんきょう
「ふるさと環境白書」では、中野市環境白書を基に、今起きている環境問題や中野市の環境を
まも とりくみ しょうかい
守るための取組を紹介しています。

なかのし ゆた しぜん まも かんが
みなさんが中野市の豊かな自然を守るにはどうすればよいのか、考えてみてください。

かんきょう まも ひとり かんが こうどう たいせつ とりくみ うち
環境を守るためには、みなさん一人ひとりが考えて行動することが大切です。その取組が、お家
ひと ちいき ひと ひろ なかのし すば ふるさと
の人や地域の人たちにも広がれば、中野市はみなさんの素晴らしい故郷になります。

もくじ
目次

なかのしかんきょうきほんけいかく 1. 中野市の環境基本計画	3
まな こうどう 2. みんなで学び、行動するために	5
へ しげん たいせつ 3. ごみを減らし、資源を大切にするために	7
あんしん あんぜん 4. 安心・安全なまちにするために	9
ゆた しぜん まも 5. 豊かな自然を守るために	11
ちきゅうかんきょう 6. 地球環境にやさしいまちにするために	13
7. みなさんへのメッセージ	15

※この「ふるさと環境白書」は、主に令和2年度の内容を書いています。

かんきょう まな 環境を学ぶために

かんきょう まな かんきょうしょう ながのけん なかのし さんこう
環境について学ぶために、環境省や長野県、中野市のホームページも参考にしてください。

かつどう かんきょうはくしょ つく
それぞれの活動ごとに環境白書が作られています。

環境省

<https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/>

長野県

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kurashi/kankyo/hozen/index.html>

中野市

<https://www.city.nakano.nagano.jp/docs/2014011600355/>

かんきょうほぜん 環境保全シンボルキャラクター



ゆた なかのし しぜん いっしょ
豊かな中野市の自然をみなさんと一緒につくる「なかのん」です。

おんがく ちくまがわ ゆた しぜん えが ぼうし き
音楽とバラと千曲川など豊かな自然が描かれた帽子がお気に入り。

いっしょ かんきょう まな
「なかのん」と一緒に環境について学んでいきましょう。

1. 中野市の環境基本計画

中野市では、恵まれた自然環境を守り、これからの子どもたちに引き継いでいくために「中野市環境基本計画」をつくり、市民のみなさんや事業者、中野市が協力して環境を守る取組をしています。

将来の中野市の姿（めざす環境像）

「緑豊かなふるさとを共につくるまち なかの」



「めざす環境像」を実現するために、5つの目標を定めました。

みんなで学び

行動する

まちにします

ごみを減らし

資源を大切にする

まちにします

安全・安心で

快適に暮らせる

まちにします

豊かな自然を

守り育てる

まちにします

地球環境に

やさしい

まちにします



もくひょう たっせい とりくみ おも しょうかい
5つの目標を達成するための取組のうち、主なものを紹介します。

1 みんなで学び、行動するために

かんきょうきょういく かんきょうがくしゅう すいしん
○環境教育・環境学習の推進

かんきょう かん じょうほう しゅうしゅう はっしん
○環境に関する情報の収集や発信

かんきょうかつどう たい しえん
○環境活動に対する支援



2 ごみを減らし、資源を大切にするために

しげん
○資源のリサイクル

てきせい しより
○ごみの適正な処理

しょくひん げんりょうか
○食品ロスの減量化



3 安全・安心なまちにするために

ゆうがいぶつしつ かんしそくてい
○有害物質などの監視測定

てきせい はいすいしより すいしん
○適正な排水処理の推進

ふ ほうとうき はっせいぼうしたいさく
○不法投棄などの発生防止対策

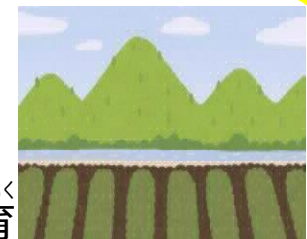


4 豊かな自然を守るために

のうち しんりん かんり
○農地や森林の管理

がいらいせいぶつ たいさく
○外来生物への対策

しぜんかんきょう い かんこう きょういく
○自然環境を生かした観光・教育



5 地球環境にやさしいまちにするために

しょう すいしん
○省エネルギーの推進

ていたんそがた こうつうかんきょう すいしん
○低炭素型の交通環境の推進

さいせいかのう どうにゆう すいしん
○再生可能エネルギー導入の推進



2. みんなで学び、行動するために

中野市では、市民のみなさんが参加する自然観察会などのイベントや、学校の環境学習を行うことによって

環境についてみんなが参加して学び、考えて、行動することを目指しています。

みんながさんか!



チョウゲンボウはハヤブサの仲間です

チョウゲンボウ応援団の活動

十三崖のチョウゲンボウ繁殖地の周りで、探鳥会を行い、生態や営巣の状況、他の野鳥について学びました。

チョウゲンボウの様子や応援団の活動をお知らせするために、「チョウゲンボウ新聞」を発行しました。

学校での環境学習

小中学校では、教科学習や栽培活動、児童・生徒会

活動をととして環境について学んでいます。

小動物の飼育や花壇作り、資源回収など幅広い活動

で地域の身近な自然を考える力をつけています。



環境に関するイベント

○斑尾ふるさと祭り

○親子体験教室「あるある探検隊」

○花のまちづくり など



しみん　じぎょうしゃ　なかのし　きょうりよく　かんきょう　かん　かつどう　おこな
市民のみなさんや事業者、中野市が協力して環境に関する活動を行いました。

ひと　きょうりよく　おこな　かんきょうほぜん　かつどう
さまざまな人たちが協力して行う環境保全活動

- えき　ちゅうりんじょう　せいそうかつどう
○駅の駐輪場の清掃活動
- かせん　かんきょうせいびかつどう
○河川の環境整備活動
- かんきょう　かん　かつどう　だんたい　しえん
○環境に関する活動をする団体への支援
- じゅうさんがけ　はんしよくち　かんきょうせいびかつどう　ようす
○十三崖のチョウゲンボウ繁殖地の環境整備活動の様子



じゅうさんがけ　はんしよくち　かんきょうせいびかつどう　ようす
十三崖のチョウゲンボウ繁殖地の環境整備活動の様子

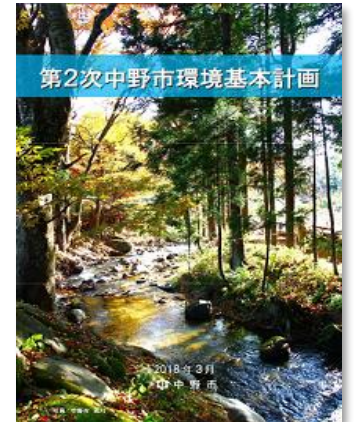
かんきょう　かん　じょうほう　こうほうし　はっしん
環境に関する情報を広報紙やホームページなどで発信しました。

かんきょう　かん　じょうほう　はっしん
環境に関する情報の発信

- こうほうし　とくていがいらいせいぶつ　かん　きじ　けいさい
○広報紙に特定外来生物に関する記事を掲載
- かんきょう　かん　じょうほう　けいさい
○ホームページで、環境に関する情報を掲載
- しせつけんがく　ひがしやま　せってい
○施設見学のコースに東山クリーンセンターを設定
- なかのしかんきょうはくしょ　はっこう
○中野市環境白書を発行

だい　じ　なかのし　かんきょう　きほんけいかく
第2次中野市環境基本計画

なかのし　ゆた　かんきょう　こ
中野市の豊かな環境をこれからの子どもたち
ひつ　だい　じ　なかのし　かんきょう　きほん
に引き継ぐために、第2次中野市環境基本
けいかく　ねんど　ねんど
計画をつくり、2018年度から2027年度ま
での10年間に中野市が取り組むべき活動
き
を決めています。



3. ごみを減らし、資源を大切にするために

きちんと分別して
ごみを減らそう



可燃ごみの約4分の1を占める生ごみを削減する取組をしました。

また、ごみをきちんと分別することで、ビンや古紙、ペットボトルなどを資源物として回収することができます。

中野市のごみの量は？

令和2年度のごみの量は、およそ1万2000トンでした。

ごみには可燃ごみ、埋立ごみなどのほか、分別すると

再利用できる資源物があります。

きちんと分別して再利用できる資源物を増やしましょう。

中野市のごみの量

ねんど 年度	ごみの量 (トン)				リサイクル率※
	可燃ごみ	埋立ごみ	資源物	計	
H28	11,198	148	1,888	13,234	14.3%
H29	11,412	132	1,787	13,331	13.4%
H30	11,086	133	1,718	12,937	13.3%
R1	12,200	131	1,546	13,877	11.1%
R2	10,915	320	1,385	12,620	11.0%

※ リサイクル率 = 資源物 ÷ ごみの量 × 100

生ごみを堆肥化するための支援

生ごみを堆肥化する機器の購入費用の一部を助成し

ていて、毎年、30～50人がこの制度を利用しています。



資源物回収の取組を紹介します

- スーパーなどの協力で日曜回収を行いました。
- 地域や学校などで資源回収が行われました。
- 高齢者だけの世帯などには個別回収を行いました。
- せん定枝や陶磁器などの回収を行いました。

わたし せいかつ かなら で で しょぶん
私たちが生活することで、必ずごみが出ます。出たごみを処分するのではなく、リサイクルします。

し げん わたし せいかつ ひつよう りよう
そうすることで、ごみだったものが資源として私たちの生活に必要なものに利用されます。

なかのし さんぎょうと しこうそう 中野市バイオマス産業都市構想

せいさん さい はっせい しょうず ばいち かじゅ ていし ゆうこうりよう しない しげん
きのこを生産する際に発生する使用済み培地や、果樹のせん定枝などを有効利用すれば、市内でバイオマス資源の
じゅんかん ちさんちしょう つな
循環や地産地消に繋がります。

れいわがんねんど なかのし さんぎょうと しこうそう けいかく もくひょう む とりくみ すす
そこで、令和元年度に「中野市バイオマス産業都市構想」という計画をつくり、目標に向けた取組を進めています。この
けいかく くに さんぎょうと し えら
計画によって、国から「バイオマス産業都市」に選ばれました。

ねんど おこな おも もくひょう 2029年度までに行う主な目標

- しょうずみ ばいち はつでんねんりょう
○使用済きのこ培地は、100%をバイオガス発電燃料などにする
- ていし ねんりょう
○せん定枝は、100%燃料にする

なかのし まいとし まん いじょう
中野市では、毎年10万トン以上の
しょうずみ ばいち で
使用済きのこ培地が出るんだよ。

ふほうとうき かんし 不法投棄などの監視

ふほうとうき いほう しょうきやく ふせ かんきょうこうがいぼうししどういん えいせいじちかい
不法投棄や違法な焼却を防ぐため、環境公害防止指導員や衛生自治会の

し しょくいん きょうりやく じゅんかい ぼうしかんばん せっち おこな
みなさん、市の職員が協力して巡回や防止看板の設置などを行いました。

ふほうとうき はんざい こじん ねん いじょう ちょうえき せんまんえんい か ばっきん
不法投棄は犯罪で、個人では5年以上の懲役、1千万円以下の罰金など

ばっそく
の罰則があります。

ふほうとうき
不法投棄は

まちがよご
まちが汚れるし

はんざい
犯罪だから

ぜったい
絶対しないで！



4. 安心・安全なまちにするために

あんしん あんぜん
公害のない安全なまちにするため、公害防止や環境測定などの取組を行いました。

あんしん
「安心」してらせる
かんきょう
環境をつくらう！



こうがい くじょう そうだん 公害の苦情や相談

こうがい くじょう そうだん う げんいん ちょうさ げんいん ひと
公害の苦情や相談を受けて、原因の調査や原因となる人
へ指導や助言を行いました。

ねんかん けん くじょう そうだん たいき
年間40～60件くらい苦情や相談があり、ほとんどが大気

おせん やが いしやうきやく すいしつおだく あぶら
汚染（野外焼却など）、水質汚濁（油もれなど）、

あくしゅう たいひ
悪臭（堆肥のにおいなど）です。



ふほうとうき かいしゅう
不法投棄のごみを回収

くわかんほうしやせんりょう そくてい 空間放射線量の測定

へいせい ねん がつ し ちょうしや がっこう ほい いくえん こうきやうしせつ くわかんほうしやせんりょう そくてい
平成23年9月から市庁舎や学校、保育園などの公共施設で空間放射線量を測定しています。

そくていばしよ こくさいてき きじゅんち じかん い か かくにん
すべての測定場所で国際的な基準値（1時間あたり0.19 マイクロシーベルト）以下であることを確認しました。

しみん みなさんが参加して、公共施設や公園、住宅の生け垣などの緑化を進めました。

また、お家からの排水を適正に処理するため、浄化槽を設置する費用の補助や下水道を普及させる取組を行いました。

排水の適正な処理

わたしたちの家から出る排水をきれいにしてから川へ流すために、下水道が整備されました。また、下水道へ接続していないお家では、浄化槽を設置して正しく管理していくことが必要です。

環境測定

水質検査で千曲川や夜間瀬川、浜津ヶ池や斑尾大池、井戸の地下水などの状態を確認しました。車の交通量が多い国道などで、騒音測定を行い基準より低いことを確認しました。

緑化活動

市民のみなさんの緑化活動と森林を大切に思う気持ちを育て、緑豊かな住みやすいふるさとにするため、緑の募金で集まったお金を使って緑化苗木頒布会を開催しました。



緑化苗木頒布会のようす

5. 豊かな自然を守るために

じゅうさんがけ きちょう どうしょくぶつ ほご のうち ほぜん しぜんかんきょう うしな とりくみ
十三崖のチョウゲンボウなど貴重な動植物の保護や農地の保全など自然環境が失われないような取組をしました。

じゅうさんがけ はんしよくち かんきょうほぜん ちようさ 十三崖のチョウゲンボウ繁殖地の環境保全調査

じゅうさんがけ はんしよくち ぼくぼっさいさぎょう こうか
十三崖のチョウゲンボウ繁殖地で、かん木伐採作業などの効果や

こんご ほご かつどう けんとう こうどう
今後の保護活動の検討をするため、チョウゲンボウの行動などの

ちようさ おこな ちようさけっか さんこう じゅうさんがけ
調査を行いました。調査結果を参考に、十三崖チョウゲンボウ

はんしよくち かんきょうほぜん やくだ
繁殖地の環境保全に役立ってます。

※「十三崖のチョウゲンボウ繁殖地」は、チョウゲンボウが集団で繁殖する世界的にもめずらしい場所です。



じゅうさんがけ すだ
十三崖から巣立つヒナのように

のうち ほぜん 農地の保全

のうち こうけいしゃぶそく りゆう たがや
農地は、後継者不足などの理由で耕されずにいると、

ざっそう おしげ しゅうへんかんきょう えいきょう およ のう
雑草などが生い茂り周辺環境に影響を及ぼします。農

ち つか ひと あ のうち さいせい
地を使いたい人とのマッチングや、荒れた農地を再生す

かつどう しえんかつどう のうち ほぜん すす
る活動への支援活動など農地保全を進めました。

ちいきしよくざい りよう ちさんちしよう 地域食材の利用（地産地消）

きゅうしょく つか しよくざい やく わり しんせん あんしん
みなさんの給食で使われる食材の約6割は、新鮮で安心

あんぜん ちいき のうさんぶつ つか じもと しょく
安全な地域の農産物を使っています。みなさんに地元の食

ざい た おも のうか はげ
材をおいしく食べてほしいという思いが、農家のみなさんの励

しよくもつ つく のうち まも
みになり、食物を作るための農地を守ることにつながります。

ち いき せいたいけい あくえいきょう およ がいらいせいぶつ くじょ おこな
地域の生態系に悪影響を及ぼす外来生物の駆除を行いました。

ち いき しぜんかんきょう みちか かん しぜんかんきょう たいせつ し とりくみ おこな
また、地域の自然環境を身近に感じて、自然環境の大切さを知ってもらう取組を行いました。

みちか しぜん し
身近な自然を知ろう！



しぜんかんさつかい ちくまがわ 自然観察会「千曲川ラフティング」

おやこ とも しぜん みちか かん しぜん
親子や友だちなど、みんなで自然を身近に感じてもらい自然の

たいせつ かんが ちくまがわ けいかく
大切さを考えてもらう千曲川ラフティングを計画しました。

れいわ がんねんひがしにほんたいふう えいきょう ちゅうし
しかし、令和元年東日本台風の影響で中止となりました。

れいわ ねんど かいさい
(令和3年度は開催できました。)



ちくまがわ れいわ ねんど
千曲川ラフティング（令和3年度のようす）

がいらいせいぶつ くじょ 外来生物の駆除

だんたい きょうりやく とくていがいらいせいぶつ
ボランティア団体みなさんに協力してもらい、特定外来生物の

くじょ おこな こうほう
アレチウリの駆除を行いました。また、「広報なかの」でアレチウリ

くじょほうほう し
の駆除方法などをお知らせしました。

がいらいせいぶつ ちもとと ちいき どうしよくぶつ
※外来生物は、元々その地域にいない動植物などをいいます。

はんしよくりよく つよ ちいき しぜんかんきょう あくえいきょう およ がいらいせいぶつ くに ほうりつ
また、繁殖力が強くその地域の自然環境に悪影響を及ぼす外来生物を国の法律で
「特定外来生物」に指定して、持ち運びや栽培などを禁止しています。

じゅうようさと ち さとやま 重要里地里山500

かんきょうしょう ぜんこく かんきょう たいおう ちいき
環境省は、全国のさまざまな環境に対応することで、地域

せいそく どうしよくぶつ たようせい まち ひと
に生息してきた動植物の多様性を守っていくために、人と

どうしよくぶつ く まじ ゆた かんきょう じゅうよう さとちさとやま
動植物の暮らしが交わる豊かな環境を「重要な里地里山」

しよ えら
として500か所を選んでいきます。

なかの し ながえちく おおひらやまいったい えら
中野市からは、永江地区の大平山一帯が選ばれました。

6. 地球環境にやさしいまちにするために

ちきゅうおんだんがすすむと、いじょうきしょうさいがいおこる。いものいきものが生きられなくなったり、かいめんがあがって、りくしずがしずまってしまうことなどがかんがえられるよ。

にちじょうせいかつしょうひに、しげんさくげんしょうを、がたしゃかいてむとりくみにむけた、とくぐりをししました。

また、たいようこうやバイオマスなどのさいせいかのうを、かつようとりくみにすすむる、とくぐりをすすめました。



市役所本庁舎の省エネ設備

市役所本庁舎の屋上に太陽光発電設備があります。

また、断熱性能や空調効率を高めること、自然換気システムを

導入することで、緑豊かな中野市の気候風土と調和した建物

になっています。



市役所本庁舎の太陽光発電設備

公共交通を利用しよう

電車やバスなどの公共交通機関を利用すると、自動車の使用

が減り、ガソリンの消費を抑えることができます。

中野市公共交通マップや料金表の作成、バスの停留所を見直

すなど市民のみなさんが利用しやすくする工夫を行っています。

地域バイオマスの産業化

使用済きのご培地やせん定枝、もみ殻などを原料にする

発電設備の調査を行いました。

調査結果は、事業者が地域バイオマス循環などの取組

に活用し、二酸化炭素の排出量削減を目指します。

べんり もと せいかつ みなお たいせつ つか せいさん はいき はっせい にさんかたんそ おんしつこうか
 便利だけを求める生活を見直し、ものを大切に使い、生産や廃棄によって発生する二酸化炭素などの温室効果ガスの
 はいしゅつりょう さくげん
 排出量を削減します。

なかのしちきゅうおんだんかぼうしじつこうけいかく
中野市地球温暖化防止実行計画

し おこな じむ じぎょう はいしゅつ おんしつこうか さくげん
 市が行う事務や事業によって排出される温室効果ガスの削減に
 む とりくみ さだ
 向けた取組を定めました。

けいかく ねんど たい ねんど にさんかたんそ はいしゅつ
 計画では、2019年度に対して 2025年度の二酸化炭素の排出

りょう さくげん もくひょう
 量を6%削減することを目標にしています。

にさんかたんそはいしゅつりょう さくげんもくひょう
二酸化炭素排出量の削減目標



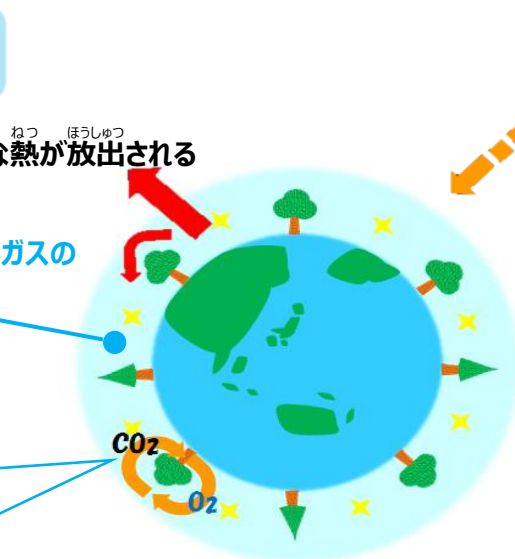
※ 2020年度実績は、7,606t-CO2でした

ちきゅうおんだんか
地球温暖化のしくみ

うちゅう よぶん ねつ ほうしゅつ
 宇宙に余分な熱が放出される

ちきゅう あた かんしつこうか
 地球を温めている温室効果ガスの
 そう てきど こ
 層は適度な濃さでした。

しよくぶつ こうごうせい
植物は光合成で
 CO₂ (二酸化炭素) を吸収して
 O₂ (酸素) を出しています



むかし にさんかたんそ はいしゅつ すく く
 昔は二酸化炭素の排出が少ない暮らしでした

よぶん ねつ のこ
 余分な熱が残ってしまう

にさんかたんそ などがふ おんしつこうか
 二酸化炭素などが増えて、温室効果
 ガスの層が濃くなっています。

こうじょう じどうしゃ ふ
 工場や自動車が増えました



いま にさんかたんそ はいしゅつ おお く
 今は二酸化炭素の排出が多い暮らしになりました

7. みなさんへのメッセージ

かんきょう 環境のために、どんな行動ができるか かんが 考えてみてください。

1 みんなで学び、行動するために

かんきょう 環境について 学ぶ

かんきょうはくしょ 環境白書を読んで かんきょうもん 環境問題について しらべる



かんきょう 環境について かんが 考えよう

じぶん 自分ができるところを かんが 考えたりまわり ひと はな あ 人と話し合ったりする



みんなさん 参加で かんきょうもんだい 環境問題に とも く 取り組もう！

できることから はじめよう

がっこう いえ 学校や家で じぶん 自分にできること を やってみる



2 ごみを減らし、資源を大切にするために

スリーアール せっきよくてき 「3 R」に積極的にチャレンジしよう！

リデュース Reduce

つか しげん りょう 使う資源やごみの量を減らす

- ひつよう 必要ない包装は断る
- も ある エコバックを持ち歩く など



リユース Reuse

かえ つか ものをくり返し使う

- こわ 壊れても修理して使う
- つか 使わなくなったものは人にあげる など



リサイクル Recycle

つか お 使い終わったものは資源にする

- ぶんべつ ごみの分別をする
- こし しげんかいしゅう だ 古紙を資源回収に出す など



3 安心・安全なまちにするために

ふほうとうき 不法投棄やポイ捨てをなくそう！

まも ルールを守ろう

きま 決められた日に決められた ばしょ 場所にルールを守って出す



かんけいきかん れんらく 関係機関に連絡

ふほうとうき 不法投棄を見つけたときは しかくしょ 市役所 や けいさつしょ 警察署へ連絡する



せいそうかつどう 清掃活動に参加

ちいき 地域の清掃活動に積極的に参加 する



4

豊かな自然を守るために

しぜん
自然にふれよう

しぜん なか で しぜん い
自然の中へ出かけて、自然や生き
もの
物にふれよう



めぐ ゆた しぜん まも つづ
恵み豊かな自然を守り続けよう！

しぜん はなし
自然について話をしよう

しぜん き かん
自然について気づいたことや感じたこと
かぞく とも はな
を家族や友だちと話してみよう



しぜん まも
自然を守ろう

しぜん い もの かんさつかい ほごかつ
自然や生き物の観察会や保護活
どう さん か
動に参加してみよう



5

地球環境にやさしいまちにするために

できることからはじめよう



れいぼう 28℃、だんぼう 20℃にしてみる



み じかん すく
テレビを見る時間を少なくしてみる

く むらし みなお ひとり かんが こうどう
暮らしを見直して、一人ひとりが考えて行動しよう！

とも かぞく かんが
友だちや家族とできることを考えよう



いえ おな へや す
家では同じ部屋で過ごす



ふろ つづ はい
お風呂は続けて入る

かきょうはくしょ なかのしかきょうはくしょ こ ばん れいわ ねんど
ふるさと環境白書 – 中野市環境白書 (子ども版) – 令和3年度

はっこう
発行

なかのし
中野市

へんしゅう
編集

ぶんかぶかきょうか
くらしと文化部環境課

ながのけんなかのしみよしちょういっちょうめ ばん ごう
長野県中野市三好町一丁目3番19号

でんわ
電話 : 0269-22-2111

メール
mail : kankyo@city.nakano.nagano.jp





中野市

